

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】桧原村バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
41	2010.3.31			東京都	桧原村	2,771	105.42
構想の要約		桧原村は、切捨間伐材や土場残材等の未利用バイオマスを、温浴施設において設置予定の薪ボイラ一等での利用を進めるとともに、廃食用油のBDF化や生ごみ等のたい肥化を推進し、地球温暖化防止・地域経済の活性化を図る。					
構想に盛り込まれた事業		1.木質バイオマス利活用モデル 2.廃食用油利活用モデル 3.堆肥化モデル					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど		資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など				
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

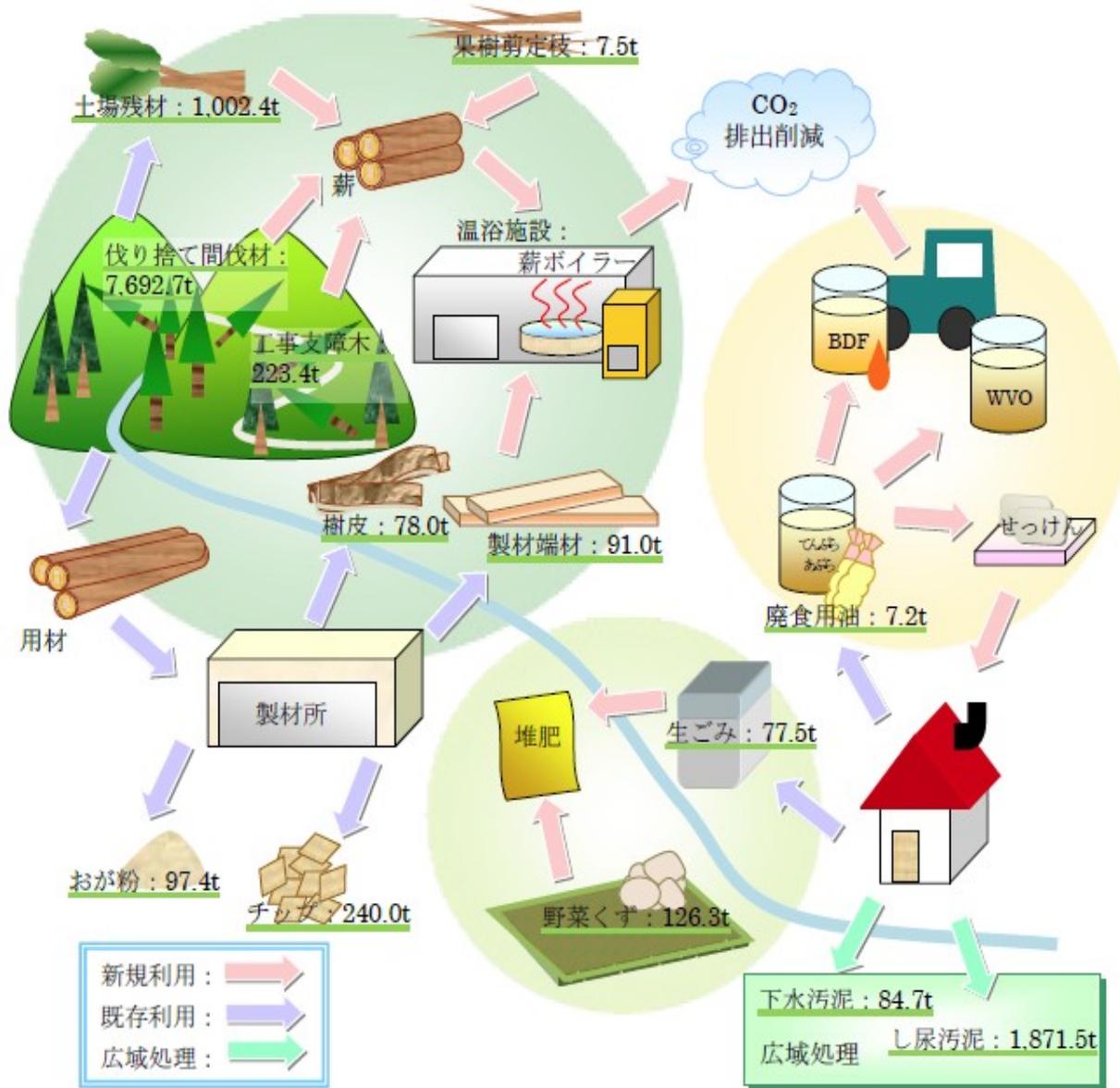
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		変換・処理方法	仕向量		利用・販売	利用率 (%)
	湿潤量 (t/年)	炭素量 (t/年)		湿潤量 (t/年)	炭素量 (t/年)		
(廃棄物系バイオマス)	1,320.9	284.0		1,297.7	283.0		99.6
生ごみ	77.5	3.4	堆肥化	54.3	2.4	堆肥	70.6
廃食用油	7.2	5.1	せっけん、 BDF化等	7.2	5.1	せっけん、 BDF、WVO	100.0
木材加工残材※	506.4	112.8	—	506.4	112.8	—	100.0
チップ用材	240.0	53.5	パルプ用材	240.0	53.5	チップ	100.0
端材	91.0	20.3	薪、パルプ用材	91.0	20.3	薪、チップ	100.0
おが粉	97.4	21.7	なめこ材 家畜敷料	97.4	21.7	菌床、敷料	100.0
パーク(樹皮)	78.0	17.4	燃料	78.0	17.4	燃料	100.0
工事支障木	223.4	49.8	薪	223.4	49.8	薪	100.0
(未利用バイオマス)	8,828.9	1,956.3		2,722.6	591.4		30.2
伐り捨て間伐材	7,692.7	1,720.1	薪	1,883.5	421.2	薪	24.5
土場残材	1,002.4	224.1	薪	707.8	158.3	薪	70.6
果樹剪定枝	7.5	1.7	薪	7.5	1.7	薪	100.0
野菜くず	126.3	10.4	堆肥化	123.8	10.2	堆肥	98.0

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)